

もりもり通信 No.16



八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告

(森ヨシヒコ後援会報)



森 喜彦（もりよしひこ）1981年生。

2006年八王子市役所に入所。2019年から八王子市議会議員（現在2期目）。無所属（会派は立憲民主・市民の会）。都市環境委員長、都市計画審議会委員。私立海城高等学校、東京立大学法学部卒。趣味は天体観察、自転車、無線など。保護猫3匹と同居中。清川町在住。

つくろう 市民自治の豊かな社会

はじめに

2024年、八王子では市長選挙・都知事選挙・衆議院議員選挙と3つの大型選挙がありました。選挙は民主主義を実現する重要な手続きですが、結果(勝敗)が民意を正しく反映しているかといえ、必ずしもそうとは言えません。小選挙区制や首長選など、定数一名の場合に顕著ですが、1位の得票よりも、1位を批判する2位以下得票が遥かに多い場合、1位の候補は民意を得たと言えるでしょうか。また、他選挙区では公職選挙法等の抜け穴をつき選挙の名を借りた宣伝活動が行われたり、SNSにデマ情報が氾濫して有権者が戸惑う状況もありました。これまでの政治に対する不満が鬱積していることは間違いありませんが、思想の左右ではなく目新しさに注目が集まっているように感じます。変革を求める傾向は海外も同様ですが、不満の鉾先が排外主義や世代間闘争に向かないよう気を付けなければなりません。2025年は参議院選挙や都議会議員選挙が行われます。国政都政が変わらなければ動かない地域課題は多いので、これからも足元から取り組みます。



衆議院議員選挙最終日 有田芳生応援団の皆さんとともに

八王子市議会 第4回定例会

第4回定例会は11/29～12/17に開催され、子ども家庭支援センターと保健福祉センターを再編してこども家庭センターを設置する条例案はじめ、32件の議案を審

議したほか、一般質問が行われました。森ヨシヒコも登壇し3テーマで一般質問しました。

103万円の壁、行政サービスへの影響は？

物価や賃金水準の高まりを背景に、税制改正の議論が行われています。給与年収103万円超から所得税が課税される「103万円の壁」。国民民主党は基礎控除等の拡大をはかり給与収入178万円未満まで非課税とすることで①納税者の可処分所得が増える。②年収を103万円以下にする労働調整がなくなる。③経済の好循環が生じる、等を提案しています。納税者にとっては一見有利ですが、所得税と関連する住民税(地方税)も減少するため、全国各地の首長から住民サービス存続を危惧する声があがっています。八王子市の税収減は約100億円(市税総額の1割以上)程度と見込んでいますが、非課税世帯が拡大することで歳出が増える事業もありますので、減った分を埋めるだけでは不十分で、新たな税負担か事業の整理縮小につながる可能性も否定できません。

社会経済の変化に合わせて税制の見直すことは当然必要ですが、減税のために福祉が削減されては本末転倒です。税制改革は物価や最低賃金とスライドさせるような単純な話ではなく、市民生活実態や社会保障制度、国全体の経済状況など、根本的なところから検証議論されるべきです。近年は経済の仕組みが複雑になり、「公平・中立・簡素」の税制三原則が揺らいでいます。この議論を結論ありきで政治的に決着することは容認できませんし、一定結論を出さなければならない場合であっても、地方財源の確保策や段階的な移行は必要です。森ヨシヒコは一般質問で税制改正が行われた場合に影響を受ける事業やその条件について質問し、市長会を通じた財源確保要望等、対応を求めました。

中小企業支援に向けた取り組み

八王子は江戸時代以来、地場商工業の隆盛に牽引され発展してきました。就労している市民の半数は市内に通勤しています。市内中小企業の発展・継続のためには、販路拡大、資金調達や後継者確保だけでなく、人材育成や労働環境整備なども求められており、市の支援施策の方向性について質しました。森ヨシヒコは、圏央道周辺都市との連携、企業誘致と同時に居住環境や通勤交通網の充実も必要であることを述べ、支援事業の評価や見直しにあたっては経営者や金融機関、経済団体のほか、労働組合や学生など働く者の視点も取り入れることを提言しました。

スポーツ振興(デフリンピックとスポーツツーリズム)

2025年11月15日～26日の間、耳が聞こえない・聞こえにくい人のための国際競技大会「東京2025デフリンピック」が開催されます。聴覚障害者は競技における周辺状況の把握や審判・選手とのコミュニケーションを聴覚で得られないことから、オリンピックにもパラリンピックにも出場枠がありません。東京2020オリパラが開催された際には、大会後の未来像として、スポーツがコーディネートする地域経済の活性化、障害のある人の社会参加の促進や心のバリアフリー化などのレガシーが描かれ、機運醸成事業としてポスターやフラッグで町中を彩るシティドレッシング、大会ロゴをモチーフにした花壇、スポーツ体験事業、期間中にはパブリックビューイングや本市出身の選手への応援などが実施されました。デフリンピックもまた、聴覚障害への理解促進やスポーツを通じた市民交流の誕生が期待されています。スポーツとの関わり方には自身が身体を動かす「するスポーツ」、観戦や応援「見るスポーツ」、大会ボランティアになる「支えるスポーツ」など様々な形がありますが、やったことがない人、馴染みがないの方が多数派です。環境や歴史・文化、観光などとスポーツの連携で地域活性化や健康づくりを増進する事例も増えています。関連してスポーツツーリズムの振興について、行政の取り組みを求めました。

西八王子駅周辺地区まちづくり方針

西八王子駅周辺は不動産業者による調査で「住みやすい街 No.1」に表彰された職住商のバランスがとれた街ですが、交通利便性の高い立地優位性がある一方、旧耐震基準

の低層建築物が多く、道路幅員やロータリーの面積も十分でないことから、駅や周辺施設の利用者や居住者のニーズに対してキャパオーバーであるとも感じます。

より利用しやすく、安全で快適なまちづくりに向け、八王子市では西八王子駅周辺地区まちづくり方針策定懇談会を設置し、周辺住民や商店を営む方などを中心にヒアリング調査をしたほか、学生ワークショップなどを開催しました。策定された方針素案は、2024年12月～25年1月6日までパブリックコメントが実施され、2月に方針策定・公表される予定です。(下図は素案からの抜粋)



図12 道路・交通基盤整備の方針

写真で振り返る最近の活動



落葉焚きや盆踊りなど地域活動



連合南多摩の総会に出席



基地も戦争もない国をめざして



都市環境委員会では脱炭素社会に向けた政策や技術を調査研究

ニュースに対するご意見や感想、市政相談は下記まで気軽にお寄せください。後援会の加入、ポスター掲示の御協力、ポスティングなどのボランティアも随時募集しています。

発行・問合せ先: 森ヨシヒコ後援会
〒193-0804 東京都八王子市清川町 19-10
Tel: 070-5580-6844
Fax: 042-698-5013
ホームページでの発信も行っています。
Email: info@moriyoshihiko.net
WEB: <https://www.moriyoshihikohachioji.com/>

